

## 2022 年度 学校関係者評価 報告書

学校関係者評価委員会

日時：2022 年 11 月 22 日（火） 11 時 00 分～12 時 00 分

場所：日本体育大学医療専門学校 会議室

学校関係者

難波 英樹 委員 難波接骨院院長 同窓会長  
蓮沼 鉄也 委員 はすぬま整骨院院長  
甘利 雅雄 委員 非常勤講師  
廣川 晃司 委員 神奈川歯科大学附属横浜クリニック 特任教授  
湯山 徳行 委員 歯学博士 ※欠席

学校

富田 美穂子 校長  
吉田 裕輝 整復健康学科長  
廣川 香 口腔健康学科長  
門田 誠 事務長  
小林 絵里 事務（書記）

学校側から現状や取り組み等について報告があり、学校関係者より意見や要望があった。

### 1. 報告

全体	教職員数、在学生数推移、学生募集状況、広報活動状況
整復健康学科	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コロナ対策として、前年度同様、手指消毒・換気・マスク着用の徹底を実施した。実技や柔道の授業は、規制を緩和し、接触者を限定するなど注意を払いつつ実施した。講義は一部リモートもあったが、ほぼ対面で実施した。</li><li>・ 各学年とも担任が主体となり、学習のサポートを実施した。特に1年生は毎週課題を配布し学習習慣の定着を図った。</li><li>・ 国家試験対策として、コロナ対策に充分注意しながら勉強合宿を9月に実施した。その他に、前期には解剖学・生理学、後期には解剖生理を中心に強化し、週3回以上実施する放課後の勉強会を実施している。</li><li>・ 退学者抑制の取り組みとして、前期・後期に分け個別面談を実施した。勉強についていけない学生をフォローするため、1年生で成績の下位者には特に重点的に勉強のサポートを実施した。</li></ul>

口腔健康学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ対策は、整復健康学科と同様の取り組みを行った。歯科医院での臨床実習は予定通り実施できたが、老人ホーム等の臨床実習は、実習先からの依頼により中止となった。代替として、学内で実習を実施した。</li> <li>・ 前年度の国家試験合格率は 92.3%だった。今年度は全員合格できるよう、これまでの課題配布に加え、補講授業にも取り組んでいる。</li> <li>・ 退学者抑制の取り組みとして、1・2年生の学力を伸ばし、学力が理由による退学者を出さないよう取り組んでいる。また、放課後に自習する学生を対応するよう遅番の教員を配置した。</li> <li>・ 学科として初めての日本体育大学編入希望者が出た。</li> </ul>
--------	---

## 2. 意見・要望など

学生生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員みずから丁寧な挨拶を心がける。入学時の学生心得として、柔道の礼法等を交えた基本教育（挨拶・授業に向かう姿勢等について）の実施が望ましい。</li> <li>・ 実技は学生のレベルが高いように感じる。一方で、授業に集中できない学生がみられる。メリハリのある講義や全員参加型の授業を行うなど試行錯誤してもらいたい。学力の向上は授業態度の向上につながるはず。</li> </ul>
学力向上の取り組み(提案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年を超えた学生同士で学習を行う。教えることで自分の勉強にもなり、やる気の向上につながる。</li> <li>・ 授業当番の責任感、遅刻、忘れ物、居眠り等、学習以前に守るべきルール（基本教育）を確認する。</li> <li>・ 模型の使用機会を増やし、教科書だけではわからない知識、感覚を養う。そのほかに学習アプリの導入検討（アトラスアプリ等）も検討してはどうか。</li> <li>・ わからないことを放置しない、させない</li> </ul>
退学者抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学時のミスマッチを減らすことを目的に、オープンキャンパスや学校説明会時に十分な説明を行う。</li> <li>・ 入学後は学生の目標や目的を明確にしつつ、学力向上の取り組みが必要。現在実施している個別面談に加え、カウンセリングなども必要になるだろう。</li> </ul>
国家試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学志願者の状況から、優秀な学生だけ獲得することは難し</li> </ul>

	<p>い。基礎学力・学習意欲の向上に向けた継続的なサポートをする必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 報告にある勉強合宿や個別フォロー等、補講の実施を継続していくとともに、国家試験対策の内容の充実化や、一問一答だけでなく、理論的に考える授業の展開も重要である。</li></ul>
その他	<p>他専門学校では卒業生に対し、頻繁に連絡を送っている学校がある。本校も卒業生との結びつきをもっと大切にしてほしい。</p>